

報道関係者 各位

置賜地域初 家庭内の家事・育児を“見える化”するチェックシートを配布 ～夫婦・パートナーの「共育」を後押し～

家庭内の家事・育児の分担を“見える化”し、夫婦・パートナー間での「共育」を後押しするためのツール「おきたまセブンワークチェックシート」を作成しました。
つきましては、本取組みについて広く県民の方々に周知くださるようお願いいたします。

記

1 目的

少子化が進むなかで、夫婦・パートナー間等での家事や育児のシェアを進めることにより、家庭内での家事や育児の負担感の平準化や軽減を図るものです。

2 内容



【構成】

- 本チェックシートは、家庭内の現状を振り返り、夫婦・パートナー間で気付きや気持ちを共有しながら、今後の暮らし方や将来像を考える構成としています。外部サービスや両親など協力者の参画も含め、家庭ごとの実情に応じた役割分担を検討できます。

【活用】

- 1回作成して終わりではなく、子どもの成長や生活状況の変化に応じて、定期的に見直して使うことを想定しています。
- 加えて、男性育休取得時に起こりがちな「何をしたらよいか分からない」といったミスマッチの防止にも活用できます。

3 配布場所

- ・ 置賜総合支庁ロビー、置賜管内市町の子育て支援等の窓口、置賜地域みんなで子育て応援団の正会員団体 等
- ・ 電子版（PDF）は、県ホームページや置賜地域の子育て支援情報を発信する「ウキウキたむたむ」で公開します。

※1 共育（トモイク）について

夫婦・パートナー同士が協力し合って、家事・育児に取り組むこと。厚生労働省では、「共育プロジェクト」として、共働き・共育での推進のため、「職場」や「家庭」におけるいわゆる“ワンオペ”の実態を変え、誰もが希望に応じて仕事と家事・育児を両立し、「共に育てる」に取り組める社会を目指す取組みが展開されています。

※2 セブンワークについて

目に見える収入のある仕事以外の家庭内の仕事（家事、育児、地域関係など）を、主に7つに分類（7つ目は各家庭の任意設定）したものを総称し表す造語。



【問合せ先】

保健福祉環境部 とも家庭支援課
課長補佐 長岡 美佐保
TEL 0238-22-1105
広報監 総務企画部長 島貫 克彦